

## 新変種コバナフデリンドウの県内分布を調べよう！

※タイプ標本は調査ボランティアが採集した標本で、牧野植物園標本庫（MBK）に収蔵されています。

## コバナフデリンドウ

[リンドウ科]

*Gentiana zollingeri* Fawc. var. *tosakensis* Mas.Yamam., Yukie Ueno & K.Ueno

本州（岐阜県）、四国（高知県）で確認された二年草。主にスギの人工林や常緑広葉樹の林床から林縁に生育する。高知県で採集された標本などをもとに2024年に発表された。3月中旬ごろから開花する。

## ◆コバナフデリンドウ

## ◆フデリンドウ

- (1)花冠は白く小さい(7-12 mm)
- (2)子房柄は目立たない(花期:1 mm未満、果期:12mm未満)
- (3)蒴果が花冠から超出しない
- (4)開花期は3月中旬～4月
- (5)スギ林や常緑樹林といったやや暗いところに生える

- (1)花冠は基本的に青紫色(12-15 mm)
- (2)子房柄は目立つ(花期:(1-)3(-5)mm、果期:12mm以上)
- (3)蒴果が花冠から超出する
- (4)開花期は4～5月
- (5)明るい林床や草地などに生える



★ 記録がない地点で見つけた場合には、  
標本採取をお願いいたします

## ◎ 注意点

- ① 複数個体確認できた場合、2～3個体を根から採取する
- ② 花あるいは果実がついているものを採る
- ③ 植物誌で「コバナ型」とされていたものでもコバナフデリンドウでないものがある
- ④ フデリンドウには白花や淡紅花などの品種がある

